

民間資格・検定試験を活用した東京都中学校英語スピーキングテスト（仮称）事業 審査結果及び審査委員会審査講評

1 審査結果

東京都教育委員会は、民間資格・検定試験を活用した東京都中学校英語スピーキングテスト（仮称）事業について、平成31年3月14日に公表した「民間資格・検定試験を活用した東京都中学校英語スピーキングテスト（仮称）事業募集要項」及び「民間資格・検定試験を活用した東京都中学校英語スピーキングテスト（仮称）事業審査基準」に基づき、平成31年4月15日から同月18日までに4件の提案を受け付けました。

提出された4件の提案について、いずれも事業応募者の構成等に^か瑕疵がなく、欠格事項にも該当しないことを確認しました。

4件の提案について、「民間資格・検定試験を活用した東京都中学校英語スピーキングテスト（仮称）事業技術審査委員会設置要項」に基づく民間資格・検定試験を活用した東京都中学校英語スピーキングテスト（仮称）事業技術審査委員会において、提案書等及びプレゼンテーションに基づく審査を行った結果、株式会社ベネッセコーポレーションを、最優秀事業応募者として決定しました。

2 審査委員会審査講評

以下に、最優秀事業応募者の提案に関する民間資格・検定試験を活用した東京都中学校英語スピーキングテスト（仮称）事業技術審査委員会の講評を示します。

(1) 最優秀事業応募者提案の優れている点

ア 中学校における英語4技能育成に向けた「話すこと」の指導の充実のため、本試験の問題や採点基準を公表する等、東京都教育委員会が募集要項に掲げた事業目的を十分に理解している。

イ 既存の資格・検定試験の実績により試験運営可能な事業基盤が構築されており、資材管理・物流、セキュリティ面等において、本事業を実施するに当たっての実施体制が整っている。

また、本事業で使用予定のタブレット端末について、独自開発したタブレット端末を相当数保有し、自社タブレットを使用した試験運営実績があることから、安定した事業運営が期待できる。

ウ スピーキングテストの一斉実施における不正行為防止対策や、解答データの録音トラブルへの対応等、スピーキングテストにおける公正・公平な受験環境の整備や実施上の安全性を担保している。

エ スピーキングテストの実施に向け、受験生がタブレット端末に慣れることも考慮して本事業を周知する等、具体的な周知計画が立てられている。

(2) 本事業を進めていく上での留意点

- ア 出題方針、出題内容、問題構成等に関する出題企画については、東京都教育委員会と十分に協議し、承認を得ること。
- イ スピーキングテストの実施（準備段階を含む）に際しては、問題の漏えい防止に万全を期すとともに、解答データの取扱いをはじめ、個人情報適切に管理する体制を確実に確保すること。
- ウ 採点者の質並びに採点の客観性及び信頼性を担保することは、本事業の根幹に関わる要素であるため、採点に際し確実な体制を構築し、本事業の信頼性を保つこと。
- エ 東京都立高等学校入学者選抜への活用に当たり、テスト結果が各都立高等学校に確実に提供されるための方法を、東京都教育委員会と十分に協議すること。
- オ 障害等のある受験者や日本語指導を必要とする受験者に対する対応、多言語に対する対応を東京都教育委員会と十分に協議すること。
- カ 8万人規模での事業実施に係る運営上の安全性を担保するため、適切な人員配置、会場の確保を計画的に行うこと。
- キ 事業の安定性・継続性を鑑み、適切な収支計画に基づき運営すること。

(3) 提案の総合的な評価

最優秀事業応募者は、資格・検定試験実績により試験運営を実現できる基盤が整っていること、スピーキングテストにおいて重要な点であるタブレット端末等の使用機材を既に保有・使用しており、安定的・継続的な事業運営が可能であること、東京都教育委員会において新しい試みであるスピーキングテストに対して熱意を有していることを評価しました。

東京都教育委員会が募集要項に掲げた事業目的や必要な要件等から逸脱することなく本事業を実施し、小・中・高等学校における一貫した英語教育の推進に資することを期待します。

一方で、本事業が東京都立高等学校入学者選抜への活用を予定していることから、活用に向けて本事業を円滑に実施できるよう東京都教育委員会等との協議や調整により、適切に対応されるよう申し添えます。